

主な内容

- 一般質問議員と質問項目…………… 1
- 一般質問から…………… 2・3
- 9月定例会 議案等審議結果一覧…………… 3
- 平成29年度決算審査…………… 4
- 主な質疑…………… 5・6
- 委員会報告…………… 6



那須烏山市 Nasukarasuyama City

# 議会だより

発行

那須烏山市議会

編集

議会広報委員会

事務局

☎0287-88-7114



春風亭昇太師匠などを招いて実施した烏山城築城600年記念イベント(10月14日)

9月定例会が9月4日(火)に  
 招集され、9月19日(水)まで  
 の16日間の会期で行われました。  
 提出された議案等の審議の結果  
 は3ページに掲載しております。  
 \*議決された議案等の内容など、詳しくは「広報なす  
 からすやま第157号」をご覧ください。会議録は市立  
 図書館と市ホームページで閲覧できます。

## 一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字になつている項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

滝口 貴史 議員

- 1 市民秋祭りの開催について
- 2 住みよさランキングについて
- 3 通学路の安心安全について
- 4 那須烏山市の災害対策等について
- 5 オリリンピック、パラリンピック、国民体育大会の準備進行について



村上 進一 議員

- 1 平成29年度市町村税の徴収率について
- 2 今後のまちづくり(第2次総合計画)における若年層に対する取り組みについて
- 3 高齢者見守りネットワークの構築について
- 4 地域企業の活性化について(建設)
- 5 コンパクトシティ形成の取り組みについて



中山 五男 議員

- 1 自然災害の対応策について
- 2 税等公金の徴収対策について
- 3 自転車ロードレースの国際大会に向けた本市の取り組みと経済効果について
- 4 中学生の公費負担による派遣事業の意義と成果について



青木 敏久 議員

- 1 市民憲章について
- 2 防災組織の連携構築等について
- 3 障がい者支援について
- 4 教育振興について



平塚 英教 議員

- 1 東海第2原発再稼働問題について
- 2 本市公共施設等総合管理計画及び中長期財政計画について
- 3 災害対策の抜本的見直しについて
- 4 本市への移住・定住促進対策について
- 5 子育て支援対策の充実について
- 6 本市の公文書管理について



小堀 道和 議員

- 1 西日本豪雨災害への備えについて
- 2 農業後継者問題について



福田 長弘 議員

- 1 観光振興対策について
- 2 災害発生時の初動態勢について
- 3 男女共同参画計画について



興野 一美 議員

- 1 防災対策について
- 2 防災教育について
- 3 防災協定都市について
- 4 県北東地区の消防広域化について
- 5 消防団応援の店について



矢板 清枝 議員

- 1 防災減災対策について
- 2 税の収納対策について
- 3 子どものインフルエンザについて



渋井 由放 議員

- 1 未利用地の利用について
- 2 環境基本計画の推進状況について
- 3 職員の教育研修について
- 4 道路・橋梁の照明のLED化について



## 議会の動き

平成30年6月

28日○文教福祉常任委員会視察研修

7月

28日○「山あげ祭」開催期間のJR烏山線利用者のお出迎え(29日まで)

28日○議会だより第49号発行

8月

9日○経済建設常任委員会視察研修(10日まで山梨県笛吹市他)

28日○議会運営委員会

9月

4日○第4回9月定例会(19日まで)

6日○庁舎整備検討特別委員会

11日○各常任委員会(12日まで)

19日○議会運営委員会

○議員全員協議会

9日○議会広報委員会

15日○議会広報委員会

# 平成30年9月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。

## 滝口 貴史 議員

### 市民秋祭りの開催について

(問) 市民秋祭りは、今年度だけの取り組みであるのか、それとも今後も継続して開催していくのか。

(答) 市内において、地域間の垣根にとらわれることなく、一体感の醸成を図る必要があると感じている。これまで別の日に別会場で開催されていた健康福祉まつりや文化祭、花火大会等の各種イベントを集約し、多くの市民の皆様が、楽しむことができる一体的な市民秋祭りとして、来年度以降も継続して開催していきたい。

### 通学路の安心安全について

(問) 大阪北部地震以降、通学路の安心安全のためにどのような方針・方策がとられているか伺う。

(答) ブロック塀を含め危険な箇所を再点検するよう、各学校へ指示し、調査結果が報告された段階で、教育委員会でも再確認し、対応を図っていくこととして

いる。危険箇所が発見された場合は、教育委員会だけでなく、市の関係部局と調整を図りたい。各学校では通学路の危険箇所のマップを作成し安全の確保を図っているが、全てが解消されているわけではない。登下校時には、危険箇所には近づかないよう指導している。子供たちの安全確保のために、学校・地域・保護者・関係機関が情報を共有し、対応を図ることが重要である。

## 村上進一 議員

### 高齢者見守りネットワークの構築について

(問) 高齢化社会となり、認知症高齢者、一人暮らしの高齢者などに対する身近な地域での見守り助け合い活動が必要となってきた。市では自治会の住民により主体的に進められるような体制づくりを推進するとの意向があるが、現状と今後の活動について伺う。

(答) 高齢者見守りネットワーク事業については、民生委員・自治会・警察・商店・金融機関等の民間事業所・官公庁など237件に登録



高齢者見守りネットワーク登録事業所に、掲示されているポスター

していただき、心配なことがあれば地域包括支援センターに連絡が入るシステムとなっている。社会福祉協議会が推進している小地域見守り活動については、平成29年度は市内97自治会で説明会を開催し、現在、月次・南・日野町・金井・興野・大金台・屋敷・愛宕の8自治会で活動組織を発足している。今後の体制づくりについては、社会福祉協議会や関係機関等と連携を図りながら、市内自治会による取組みとして、身近な近隣での見守りや支え合い活動が行えるよう、市としても地域力の維持・強化を一層支援する方針である。

## 中山五男 議員

### 自然災害の対応策について

(問) 近年は観測史上例を見ない豪雨により、河川の氾濫や土砂流失等、自然災害が連続している。そこで本市内の災害危険箇所全域にわたり災害が発生した場合、想定される被災状況を伺いたい。

(答) 本市内の土石流・地すべり等危険箇所は410箇所あり、想定被害戸数は884戸。また河川氾濫による浸水戸数は約350戸の被害が想定される。

### 教育振興について

(問) 児童生徒に、本市出身、在住で活躍している方の話を聞く機会を設けることは、ロールモデルを選ぶ上で重要である。可否を伺う。

(答) 大変有効だと考えられるため、ご意見や情報提供をいただきながら、

(答) 防災行政無線や消防サイレン、市防災行政情報メール等により伝達する。更に、消防団員等の協力を得ながら逃げおくれのないよう努めたい。

## 青木敏久 議員

### 市民憲章について

(問) 市政経営の要諦は、ビジョンづくり、仕組みづくり、人づくりである。取り分けビジョンづくりは、市政経営における縦糸であり、過去、現在、未来を貫く真理である。市民憲章制定について伺う。

(答) 自治体キヤッチコピー等を優先し、市民憲章の制定は、時期を捉えて検討したい。

## 平塚英教 議員

### 本市への移住・定住促進対策について

(問) 昨年度、県内自治体への移住に関する相談件数は、前年度の1.5倍の2956件に上り、関東1都6県では最多だが全国では35位との報道である。本市の昨年度の相談件数はいくらかであったか。県内の上位市町のほとんどは、専門



障がい者スポーツを楽しむ人々

の相談窓口を設け、ワンストップサービスで対応しているとのことだが、本市においても同様の窓口対応を図って移住・定住促進対策を進めていただきたい。

## 小堀道和 議員

### 西日本豪雨災害への備えについて

(問) 本年7月の西日本豪雨災害を振り返り警報発令や避難指示、避難弱者救出、ハザードマップ等見直す点について伺う。各種警報に對し行動する人が少ない。命や身体被害を防ぐには「逃げる文化」の醸成が最も重要。各種警報の理解と逃げる防災訓練が必要だが見解を伺う。

(答) 新たにハザードマッ



防災訓練を行う地域住民

## 福田長弘 議員

### 観光振興対策について

(問) 観光による交流人口の増加は、市の地域の賑わいのもとになるツールと考

る。観光振興対策として、観光客の受け手育成は本市の基幹産業である農業の維持・発展に重要と認識している。新しい農業のやり方、魅力ある儲かる農業等の実現の戦略を立て課題解決につなげたい。

(答) 担い手である認定農業者や集落営農組合、農業法人等の受け入れ希望調査を実施し公開を前提に調整したい。農業後継者の受け手育成は本市の基幹産業である農業の維持・発展に重要と認識している。新しい農業のやり方、魅力ある儲かる農業等の実現の戦略を立て課題解決につなげたい。

(答) 担い手である認定農業者や集落営農組合、農業法人等の受け入れ希望調査を実施し公開を前提に調整したい。農業後継者の受け手育成は本市の基幹産業である農業の維持・発展に重要と認識している。新しい農業のやり方、魅力ある儲かる農業等の実現の戦略を立て課題解決につなげたい。

(答) 担い手である認定農業者や集落営農組合、農業法人等の受け入れ希望調査を実施し公開を前提に調整したい。農業後継者の受け手育成は本市の基幹産業である農業の維持・発展に重要と認識している。新しい農業のやり方、魅力ある儲かる農業等の実現の戦略を立て課題解決につなげたい。

えるが、現在の観光行政について現状をどのように感じているのか伺う。

(答) 平成23年度以降本市の観光入込数は大きく減少し42万人にまで落ち込んでおり、各種取り組みにより54万人まで回復しているが、観光客の増加に向けた改善が必要であると考えている。そのためには行政、観光協会、民間事業者、そして市民がそれぞれの役割を着実に果たすと共に、横断的な連携を図りつつ、協働の考えに基づき、段階的に推進主体を行政から民間に移行していくことが望ましいと考えている。



高根沢町とのイベント、ボタリングで那須烏山市に訪れるイベント参加者

(問) 近隣市町との連携をどの様に取り組みむのか伺う。

(答) 例えば、下野の国二大祭りや鹿沼市と烏山線沿線つながりで高根沢町と連携を進めている。持続可能な観光を確立させていくためには、行政だけでなく、観光協会や商工及び観光関係の事業者を含めた取り組みが不可欠であると考えている。官民協働による広域観光の推進が交流人口の増

加や、地域の賑わい創出につながり、その積み重ねが地方創生の本来の姿ではないかと考えている。効果的な連携のあり方について検討する。

### 興野一美議員

#### 防災対策について

(問) 西日本豪雨の災害の多くは、ハザードマップとほぼ一致している。人が死なない防災として、まずは避難することが大切だが、自分は大丈夫、今まで水害はなかった、豪雨・雷で外に出られなかったなどの理由で避難しない人がいる。また災害弱者に対してどのような対策をとればいいのか伺う。

(答) ハザードマップの普及啓発が不十分と感じた。自治会等自主防災組織で開催する防災訓練に職員がハザードマップを持参し、再度、防災意識の向上に努めている。災害弱者と言われる高齢者や障がい者、乳幼児等に対する対策については、地域の協力体制の整備が重要である。

#### 東北東地区の消防広域化について

(問) 南那須地区広域消防、塩谷地区広域消防、那須地区消防組合と統合して広域化できないか伺う。

(答) 管轄人口10万人未満の小規模消防本部は、多様な災害への対応力、高度な装備や資材の導入、専門的な知識・技術を有する人材の育成等、組織管理や財政運営上における対応が

課題とされている。消防の広域化は消防体制の強化のためには有効な手段と認められているため、県及び南那須地区広域消防本部等と検討していきたい。

### 矢板清枝議員

#### 子どものインフルエンザについて

(問) 昨年度より1歳から中学3年生までを対象にしたインフルエンザ予防接種費用の助成をしているが、実施状況を伺う。また、助成に伴う手続の簡略化ができないか伺う。

(答) 昨年度の助成延べ件数は1058件で、接種された実人数は650名であった。接種費用の助成は1件1000円で、総額105万8000円の支出であった。制度導入に当たり、昨年度は本市医師会と協議し、対象年齢等を検討した上で接種費用の一部助成制度の周知徹底を図ってきた。また、接種を強要することがないよう、接種前に保護者がかかりつけ医師と十分に相談し、お子様の体調のよい時期に接種することも知らせてきた。

また、申請は、まず保護者が医療機関に接種費用を全額支払い、その後領収書をこども課窓口を持参し、請求書に記入いただいた上で口座振り込みの方法で実施している。インフルエンザ予防接種は任意のため、保護者の責任のもとで安全な接種を推奨し、その上で費用の一部を補助し

ている。引き続き申請方式で進めていく。

### 渋井由放議員

#### 環境基本計画の推進状況について

(問) 将来人口を踏まえて、着実にごみ、し尿を処理していくため方向性を見出すのが環境基本計画の流れになっている。廃棄物の処理と清掃に関する法律第11条第2項では、市町村は一般廃棄物だけでなく産業廃棄物も合わせて処理ができるとなっているが、検討がなされたか伺う。

(答) 南那須地区広域行政事務組合では平成30年3月に一般廃棄物処理施設整備基本構想を策定したが、産業廃棄物に関しては十分な議論がなされていないのが実状である。

(問) 焼却施設2炉をつくらせて16時間焼却すると8時間は単純に空く。その時間を利用して産業廃棄物を焼却すれば、空いている時間を有効利用して収入を得ることができると。16時間焼却して、8時間焼却しないと、耐火レンガ等が冷えて収縮し悪影響を及ぼし修繕費の負担が大きくなる。また熱利用の観点からも発電機をつける等の有効利用が限定される危険がある。このことについてどのように考えるか伺う。

(答) 確かによい運営方法かもしれない。調査検討をさせていただきたい。

## 9月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

議案等			審議結果	議案等			審議結果
議案第10号	教育委員会委員の任命同意について	同意	議案第4号	平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決		
議案第11号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	議案第5号	平成30年度水道事業会計補正予算(第1号)について	可決		
議案第6号	個人情報保護条例の一部改正について	可決	議案第12号	平成29年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決		
議案第7号	嘱託職員及び臨時的任用職員の任用、給与その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	可決	追加議案第1号	平成30年度水道事業会計補正予算(第2号)について	可決		
議案第8号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	認定第3号	平成29年度熊田診療所特別会計決算の認定について	認定		
議案第9号	放課後児童健全育成事業実施条例の一部改正について	可決	認定第6号	平成29年度農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定		
議案第1号	平成30年度一般会計補正予算(第2号)について	可決	認定第7号	平成29年度下水道事業特別会計決算の認定について	認定		
議案第2号	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	認定第8号	平成29年度簡易水道事業特別会計決算の認定について	認定		
議案第3号	平成30年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	認定第9号	平成29年度水道事業会計決算の認定について	認定		

(起立による採決)

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																
		青木	興野	堀江	荒井	福田	村上	矢板	滝口	小堀	相馬	田島	渋井	久保	沼田	中山	高田	平塚
認定第1号	平成29年度一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成29年度国民健康保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	平成29年度後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	平成29年度介護保険特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※掲載は採決順で、議長(沼田議員)は表決に加わらない。 ※認定第1号～第9号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決

# 平成29年度 決算審査

平成29年度一般会計、7特別会計、水道事業会計の決算については、所管の各常任委員会に付託され、慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会の審査の中で出された意見等の中で、本会議において報告された内容を掲載します。

## 総務企画常任委員会

所管する課等

総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

## 総合政策課

○ふるさと応援寄附金については、制度の趣旨を踏まえ、地域の魅力発信や交流人口の拡大等も視野に魅力ある返礼品の充実を図り自主財源の確保に努められた。

## 広報活動

○広報活動は広報紙のほかホームページやメール、ツイッター、フェイスブックなどを活用しているが、電子情報通信を活用する際には、高齢者に対し操作方法の指導も含め丁寧な対応をされた。広聴活動では市民参加による市政運営を促進するためにも、市の課題をきちんと提示し、それに対する意見を押し出してもらうような工夫を期待する。

## まちづくり課

○デマンド交通について、路線拡大やコールセンターのあり方などを検討し、交通弱者が利用しやすく、効率的効果的な運行に向けて見直しをされた。

## 健康福祉課

○平成30年3月に男女共同参画計画を策定されたが、今後は計画の趣旨に沿って市民の意識を確認しながら具体的な事業に積極的に取り組まれることを期待する。計画の推進にあたっては、市長自ら先頭に立って市民の意識向上に向け活動を進めていただきたい。



デマンド交通に用いられている車両

## 総務課

○現在の防災無線を廃止するにあたり、市民に不安を与えないよう事前周知を十分に行われたい。これに代わる方法として市民に広く情報が届けられるよう新たなシステムの構築を図り、今後の防災対策について万全な体制がとれるよう努められた。

## 職員

○職員のメンタルヘルスについて、カウンセリングを実施するなど早期に対処していることだが、精神的な理由による不調

者の退職が続いていることから、業務量の管理、年次有給休暇の取得しやすい環境整備、職員間のコミュニケーション向上などに努められた。

## 税務課

○平成30年度から徴収体制を見直し、県との連携もさらに強化して自主財源確保のために日々努力されているが、平成29年度の市税徴収率が3年連続県内最下位になったことから、徴収率引き下げの要因となっている固定資産税の大口滞納の整理により一層力を傾注されたい。これら大口滞納を除けば県内上位の徴収率であることから、市税徴収の状況については、市民の不公平感を招かないよう今後も丁寧な情報提供を心掛けられた。

## 文教福祉常任委員会

所管する課

市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課及び文化振興課

## 本委員会の所管する各課横断的なもの

○幅広い業務に取り組み職員の努力を評価する。一方、市の財政状況や職員数に鑑みると、実施事業が多く、選択と集中を図る時期に来ていると考えられる。各事業の検証を行い、マニエリ化した事業等については思い切った決断をされた。

## 市民課

○熊田診療所については、改善努力が見られるものの、依然として一般会計からの繰入金に依存している体制であることは否めない。利用者や地域住民の声を真に受け止め、地域に根ざした診療所となるよう一層精進されたい。

## 健康福祉課

○80代の親とひきこもる50代の子を意味する8050問題が深刻化しており、高齢の親亡き後、子供が生活保護に移行するケースの増加が懸念される。要援護世帯等の実態を把握し、早い段階での介入や就労支援等の対策を講じられた。



保健福祉センター内の生活困窮者等相談窓口

○健康診査は病気の早期発見・早期治療のために重要な事業である。がん検診の自己負担が増額となったが、受診者が減少しないよう普及啓発に努められた。

## こども課

○財政状況及び園児数の推移から、七合保育園の統廃合はやむを得ない。公共施設等総合管理計画において、他の保育園や幼稚園の統廃合も

検討していることを踏まえ、保護者及び地域住民には丁寧な説明を行い、特に保護者に対しては早期の情報提供を含めた十分な配慮をされた。

## 放課後児童健全育成事業

○放課後児童健全育成事業について、過去3年度分の子育て総合支援事業費補助金を返納している。担当する業務に対し十分な知識を習得し、適正な事務執行に努められた。

## 学校教育課

○姉妹都市であるメノニー市への中学生派遣が、平成29年度で20回目の実施となった。中学生が国際的な視野の拡大を図る貴重な機会であるが、相互交流を期待するものの、メノニー市から本市への来訪がないことや、メノニー市側の受け入れに係る負担を考慮し、本事業の見直しを検討された。また、平成30年度より中学生の広島平和記念式典派遣事業が、総務課から学校教育課に移管されたが、本事業について、実施目的や意義を熟考し、派遣先や人数等の見直しを検討されたい。

## 生涯学習課

○なすから英語塾について、地方創生推進交付金が平成30年度をもって終了することを機に、事業の見直しを検討されたい。

## 文化振興課

○ジオパーク構想については、ゼロベースでの見直しを検討された。日本ジオパークネットワークの正会員になることありきでなく、まずは貴重な地域資源を子供たちの教育に活用し、郷土を愛する心の醸成を図れるよう取り組まれた。

## 経済建設常任委員会

所管する課等

農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

## 農政課

○国の農業行政が大きな変革期を迎えている中で、本市の農業は担い手不足や耕作放棄地の増大など多くの課題を抱えている。これらの解決に向け、新制度での農業委員と農地利用最適化推進委員に期待するところは大きい。さらに市農政課、農業公社、新たに設立されたアグリ那須烏山、農協生産団体など関係各所で連携し合いオール那須烏山体制で取組まれることを期待する。

○市のブランド認証制度第1号として認証され、その後の販路拡大、市の知名度向上への貢献が大いに期待された中山かぼちゃだが、現在、肝心の生産者の不足が懸念されていることである。農協等の関係団体

との連携を密にし、新規の生産者を確保された。また、第2、第3の認証を受けられるような潜在力のある農産物や加工品の掘り起こしに努められた。

## 商工観光課

○例年実施しているプレミアム付商品券発行事業だが、消費の喚起による市内経済の活性化という本来の目的は達成されていないように感じる。漫然と前年並みの事業展開をすることなく、商工会と調整し、事業の趣旨に沿った成果があがっているか検証された。検証の結果、成果があがっていないと判断されるときは、抜本的な見直しも考慮されたい。

## 市では、商工観光課が

所管するものに限らず、様々なイベントが行われている。その中には市外からの誘客が見込めるものも多くあるが、市内の連携が不足しているため、せっかくの機会が活かされていないように見受けられる。観光イベントはもちろんだが、あらゆるイベントで十分に連携を図り、積極的な誘



市のブランド認証第1号の中山かぼちゃ

客を行った上で、お越し  
 いただいた方の満足度  
 を上げ、リピーターを増  
 やす努力をされたい。一  
 方で、本市の観光産業は  
 現状では多くの収益が  
 見込める構造となつて  
 いない。市観光振興ビ  
 ジョンで目指す「稼げる  
 観光」への転換を強く推  
 し進められたい。

**環境課**

○市には、ごみの減量化、  
 ごみステーションの使  
 用マナーの向上、ペット  
 の糞害対応など環境に  
 関する大小多くの課題  
 が山積している。これら  
 の課題は、市を美しく住  
 みよい環境にするため  
 に様々な責務を市や市  
 民等に課した「美しく住  
 みよい環境づくりに関  
 する条例」の遵守により  
 解決できるものと考え  
 る。改めてこの条例の趣  
 旨に立ち返り、行政、市  
 民等一丸となつて環境  
 美化に取り組みられたい。

**都市建設課**

○地籍調査事業に関し、  
 調査を了している一部  
 の地区で多額の費用を  
 かけ再調査を実施しな  
 ければならない状況と  
 なっていることは誠に  
 遺憾である。今後はこ  
 ようなことがないよう  
 十分留意し、着実に事業  
 を進められたい。なお、  
 本件に関し地権者に対  
 して十分な説明を行う  
 とともに、地権者はもち  
 ろんのこと、その他の関  
 係者にも不利益が生じ

ることがないよう丁  
 寧な対応をされたい。  
 ○市内の道路・橋梁の多  
 くは、整備から30年以  
 上経過しており、老朽  
 化に伴う今後の費用  
 負担の増加が心配され  
 る。計画的に早めの点  
 検、補修を行うことで  
 長寿命化を図り、トー  
 タルとしての費用を削  
 減できるよう対策され  
 たい。なお、市の財政  
 状況が厳しい折、市単  
 独での事業展開には限  
 界がある。あらゆる可  
 能性を探り、また、積  
 極的に国・県への要望  
 を行うなどし、財源確  
 保に努められたい。

**上下水道課**

○平成31年度に簡易水道  
 事業は水道事業に統  
 合され、企業会計とし  
 て運営されることと  
 なる予定である。今  
 後、企業会計として一  
 つになる水道事業は  
 もちろんのこと、特別  
 会計で経理されてい  
 る公共下水と農業集  
 落排水の両下水道事  
 業についても、独立採  
 算を意識し経営感覚  
 を持つて運営された  
 い。その上で、災害対  
 策も考慮し、必要な上  
 下水道サービスが安  
 定して提供できるよ  
 うに長期的視点に立  
 ち、施設の整備・管理  
 を行われたい。

**主な質疑**

9月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約し  
 て掲載しています。

**一般財団法人那須烏山市農業公社  
 の経営状況説明書の提出について**

議員 収益事業を株式会社  
 アグリ那須烏山に移管  
 することになった理由  
 を伺う。

答弁 収益部門と公益部門  
 を分けたそもその理  
 由は、農家の委託が今後  
 増えてくるため、農業法  
 人化しないと、農地の耕  
 作権を持ってないとい  
 うのが一番の理由である。  
 実際に平成29年度はア  
 グリとして8ヘクター  
 ルの生産事業を行った。

**平成29年度健全化判断比率  
 及び資金不足比率について**

議員 資金剰余額は簡単に  
 言うところのどのような意味  
 なのか会計ごとに伺う。

答弁 農業集落排水事業特  
 別会計、下水道事業特別  
 会計、簡易水道事業特別  
 会計については、決算書  
 の実質収支額と同額で、  
 決算の剰余金である。水  
 道事業会計は流動資産  
 から流動負債を引き、控  
 除企業債を足した金額  
 である。

**那須烏山市放課後児童  
 健全育成事業実施条例  
 の一部改正について**

議員 烏山放課後児童クラ  
 ブがこども館から、烏山  
 小学校校舎内に移転す  
 るとのことだが、今後、

こども館はどのような  
 役割を担うのか。維持管  
 理の方針も含めて伺う。

答弁 幼稚園や保育園等に  
 通っていない未就園児と  
 その母親の交流の場、子  
 育てサロンとして利用す  
 る。これらの交流サロンの  
 事業についても、今後、  
 複合的な施設が整備され  
 れば、移転をする形にな  
 ると思われる。これが確  
 定するまでは、今まで通  
 り維持管理していくが、  
 最終的には、解体すると  
 思われる。

**平成30年度那須烏山市一  
 般会計補正予算について**

議員 英語コミュニケーション  
 ション推進事業A.L.T  
 の業務委託について来  
 年度以降も同様に行う  
 のか、また、委託料は周  
 りの市町と比較して妥  
 当なのか伺う。

答弁 A.L.Tは全校配置と  
 いうことで7名を配置し  
 現在実施をしている。来  
 年度以降も同様に配置  
 したい。委託料はいづれ  
 の市町も、ほぼ同じよう  
 な額になっている。ただ  
 本市のように全部委託で  
 行っている市町、また自  
 分のところで採用してい  
 るA.L.Tがいる市町もあ  
 るので単純に比較できな  
 いところもある。

**平成29年度決算に関する  
 総括質疑**

議員 個人番号カードを利  
 用した各種証明書等の  
 コンビニ交付の導入に  
 ついて、どのような証明  
 書を発行し、いつごろ導  
 入する予定なのか。

あるが現在どのような  
 状態なのか伺う。



植樹された人生の並木路

答弁 県内で16の市町が既  
 にコンビニ交付を行って  
 いる。そのほとんどで取  
 り扱っているのが、住民  
 票と印鑑証明書である。  
 ある。本市においては、  
 どこまでの証明書を出す  
 ことが有効かということ  
 を今後検討し、導入に向  
 けて進めてまいりたい。

議員 市の規模に則したス  
 リムな組織改革につい  
 て、現在どのような検討  
 をなされているか伺う。  
 答弁 今年度7月から毎  
 月、組織機構改革の検討  
 委員会を参事、課長等が  
 中心となって開催して  
 いる。業務等の洗い出  
 し、本来の課の配置等、  
 全般にわたって検討し  
 ている。今後も毎月開催  
 した中で、来年度に向け  
 て組織機構改革ができ  
 るよう検討しているこ  
 ろである。

議員 平成31年度予算  
 編成に向け、各課で現在  
 行っている行政事業のコ  
 スト見直し、事業成果の  
 検証が必要ではないか。  
 答弁 来年度に向けて実施  
 計画のヒアリングを各  
 課全部予定している。そ  
 の中で、コスト見直し等  
 を行い、思い切った改革  
 ができるよう予算編成  
 に臨んでまいりたい。

議員 わくわく商品券は事  
 業成果があるのか、もう  
 1度見直すべきではな  
 いのか。また、益子町で  
 行っている地域通貨等、

答弁 本市においても検討す  
 べきではないのか。  
 議員 本市の平成29年度標  
 準財政規模は約83億円  
 となっている。一方で決  
 算は116億円である。  
 削減に向けてどのよう  
 に努力されているのか。  
 答弁 標準財政規模自体  
 は、経常的な状態である  
 であろう一般財源の規  
 模を一般的に示すもの  
 である。将来的な課題と  
 して、経常一般財源で運  
 営できるのが一番理想  
 であるが、現時点ではそ  
 こまで至っていない。ま  
 た、財源等も乏しいとい  
 うことから、日々の各年  
 の予算については精査  
 した予算を組んでいる  
 というところである。将来  
 的な展望ということご  
 でご理解願いたい。



わくわく商品券を購入しようと集まった人々

議員 ジオパーク構想推進  
 事業の内容が中途半端  
 ではないのか。  
 答弁 昨年の12月に推進協

### 9月定例会の本会議日程と傍聴者数

月 日	内 容	傍聴者数	月 日	内 容	傍聴者数
9月4日(火)	開会報告・上程採決・付託	4人	9月7日(金)	一般質問	17人
9月5日(水)	一般質問	18人	9月10日(月)	決算総括質疑	3人
9月6日(木)	一般質問	10人	9月19日(水)	上程・報告・閉会採決	5人
計		57人			



荒川層群を観察し、昔付近が海だった事を学習する子どもたち

議会を開催し、改めて活動方針等について協議を行った。その結果、ジオパーク活動の基本である人材育成と郷土愛の醸成、そのために市内の児童生徒への継続的な学習機会の増加、さらにジオガイドの養成及び認定制度などの確立、強化を図るということを決定した。

### JR烏山線利用促進等特別委員会

活動報告



観光客を歓迎する議員とやまどん

例年になく暑い日が続いた7月の28、29の両日、JR烏山線を利用して山あげ祭にお越しいただいたお客様を歓迎する「お出迎え」のため、烏山駅前市議会議員の他、やまどんも集合。11時42分着の「アキユム」が満員の乗客を乗せて到着。出席議員とやまどんが横断幕を掲げてお客様と記念写真に納まるなど賑やかな「お出迎え」となりました。

今年川俣市長の提案によりSuicaが利用できない烏山駅において西瓜(すいか)でお客様をおもてなしすることになりました。市長を先頭に議員、職員が一人分ずつカップに入れた西瓜をお客様にお配りしましたが、暑い中、冷えた西瓜が好評でした。

烏山駅へのSuica導入については、JR烏山線利用促進等特別委員会としてJR東日本に要望活動を続けていきます。

委員長 高田悦男

### 文教福祉常任委員会

活動報告



給食センターで説明を受ける委員

当委員会は6月28日、勉強会及び市内の行政視察を行いました。介護保険制度が毎年改正され複雑化していることを踏まえ、勉強会を行い、今後ますます増大する課題を見出しました。

同日、視察した市内の施設のうち、給食センターでは、安心安全な食事を作るための方策、アレルギー対策について説明を受けました。

耐震化のされていない子ども館での放課後児童クラブの実施が懸念されていますが、烏山小学校内の空き教室にこの10月から移転することに伴う工事状況、安全を確認してきました。

耐震化されていない七合保育園は公共施設等総合管理計画において用途廃止が決まり、保護者や地域住民との話し合いが現在行われています。園児やその保護者に過度の負担がかからないよう丁寧な対応が望まれます。

委員長 滝口貴史

### 経済建設常任委員会

活動報告



笛吹市職員に鶏飼について説明を受ける委員

当委員会は、8月9日、10日に山梨県笛吹市及び北杜市を視察しました。笛吹市で観光客誘致を目的に、伝承を基に笛吹川石和鶏飼を復活させました。7月から8月の水木土日曜日に観光客に鶏匠体験を、また温泉街とコラボした花火大会の実施と観光振興に役立っています。本市でも那珂川・荒川を活用した観光振興に努めることが必要と思われました。北杜市においては耕作放棄地の有効活用による企業型農業参入等について研修しました。北杜市養蚕業の衰退等により、農地面積の17%が耕作放棄地となりましたが、県と市農業振興公社が連携し、企業型農業の候補地としてPR。平成14年度から昨年度までに22社の企業を誘致、約500人の雇用拡大に繋がっています。本市において耕作放棄地の有効活用を図った産業振興に役立てるための参考になりました。

委員長 平塚英教

### 大阪北部地震、西日本豪雨災害に義援金

被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。市議会議員会(議員の親睦団体)は、被災された皆さまの救済や復旧に役立てていただくため、大阪北部地震に2万円、西日本豪雨災害に10万円の義援金を寄付しました。義援金は市及び全国市議会議長会などを通じ被災地に送られます。

### 意見書提出

9月定例会での決定を受け「東海第二原発の稼働延長を認めない意見書」及び「東海第二原発の稼働延長を認めない旨の意見陳述を要望する意見書」をそれぞれ関係行政庁へ提出しました。

## 議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。  
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。  
(☎0287-88-7114)

## 12月定例会は、11月30日(金)開会予定です

※正式な日程は、11月22日に開催される議会運営委員会で決定されます。

### 9月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
陳情書第1号	東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の提出を求める陳情	なし	採択



沼田議長(右)より感謝状を受け取る久保居議員

### 表彰

栃木県市議会議長会より渡辺健寿前議長と久保居光一郎議員(前副議長)に感謝状が贈られました。

### あしがき

9月定例会開催中に台風21号、北海道胆振東部地震が発生致しました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一日も早い復興を願うばかりです。

9月定例会でも、8人の議員が防災対策について質問致しました。市民の皆様も自然災害を身近なものにとらえ、常日頃から防災についての認識を深めていただきたいと思います。

市議会議員となって半年が経過致しました。まだまだ「日々は勉強」の毎日です。議員になる前は、新聞を読んでも、日銀のゼロ金利政策がいつまで続くのか、株価の動向等、経済関連の記事に注目していましたが、最近では茂木町の昨年度移住相談件数が前年の3倍で県内1位となった、那珂川町の文化財「飯塚家住宅」を大田原市の第三セクター等が借り受け、1億円を投じてホテルとして開業する等の近隣市町の記事に注目するようになりました。那須烏山市も近隣市町に負けず劣らず頑張っています。

今年も残すところ後2カ月余りとなりました。平成最後の新年を穏やかに迎えたいものです。  
(村上進一議員)